

テニス

- 1 期 日 7月26・27・28日
- | | | | | | |
|-----|-------|--------------|-------|---------|---------------|
| 26日 | 11:30 | 開場・団体戦監督会議 | 12:00 | 開始式 | |
| | 12:20 | 競技開始(団体戦) | | | |
| 27日 | 8:00 | 開場 | 8:30 | 個人戦監督会議 | |
| | 8:45 | 開始式 | 9:00 | 競技開始(S) | 11:00 競技開始(D) |
| 28日 | 8:00 | 開場 | 8:30 | 個人戦監督会議 | |
| | 9:00 | 競技開始(個人戦S,D) | | | |
- 2 会 場 大分市営駄ノ原庭球場
- 3 参加制限
- (1) 団体戦：学校単位で編成された郡市代表チームとする。
(郡市代表数に制限はないが、1校1チームとする。)
チーム編成は、監督1名、コーチ1名、選手7～10名以内、合計12名以内とする。
 - (2) 個人戦：郡市代表人数に制限はないが、シングルス、ダブルス重複しての出場はできない。
 - (3) 監督・コーチは、出場校の教職員とする。教職員以外のコーチは、県中体連に登録された者とする。
- 4 競技規則
- (1) 平成29年度日本テニス協会ルールブック及び「本大会要項」を適用する。
 - (2) 団体戦、個人戦とも1セットマッチ(6ゲームズオールタイムブレイク)とする。
ノーアドバンテージシステムで実施する。エントリー数や天候によっては、各種短縮システムで行うこともあり得る
 - (3) 使用球はダンロップフォートとする。
 - (4) ベンチ入り及びコーチングは、団体戦に限り、監督・登録コーチ・選手のうち1名を認める。
ただしコーチングは、規定の範囲内である。(エンドチェンジの90秒間)
外部からのコーチングは一切禁止する。
- 5 競技方法
- (1) 団体戦：競技は、すべて郡市代表による学校対抗とし、リーグまたはトーナメント方式で行う。
(出場数により決定) 3シングルス、2ダブルスの5ポイントで行う。
・試合は、ダブルス2、ダブルス1、シングルス3、シングルス2、シングルス1の順で行う。
・同一対抗戦中に、同一選手がシングルスとダブルスの両方に出場することはできない。
・トーナメントの場合、初戦は全試合行う(ポイント決定後は4ゲーム先取とする)が、2試合目以降は3ポイント打ち切りとする。
 - (2) 個人戦：トーナメント方式で行う。
 - (3) シード制を採用する。
- 6 備 考
- (1) 選手は、背中に「県名・学校名・姓」のゼッケンを四隅を糸または、ホックでとめておく。文字は白の台紙に黒文字とし、「漢字」または「かな」を使用すること。(下図参考)
 - (2) 選手の服装は以下の通りである。
シャツ：襟付きのテニスウェアとする。(ポロシャツとし、Tシャツ形式は不可)
ショーツ・スカート・パンツを着用。
ソックス：くるぶしよりも上で膝よりも下のものとする。
その他：膝や肘よりも長くなるアンダーシャツやスパッツの着用は不可。
ロゴ規定についてはルールブック通りである。(申し合わせ事項を参照)
ラケットのステンシルマークは不可。テニスシューズを着用すること。
女子のワンピースは可。ウエストから上部はシャツ、下部をスカートと見なす。
 - (3) 監督及びベンチ入りするコーチの服装は、選手に準ずるものとする。
 - (4) 団体戦のオーダーは、試合ごとに変更を認める。監督及びベンチ入りするコーチは、必ず挨拶に立ち会うこと。
 - (5) 個人戦の組み合わせは、総務委員会で行う。
 - (6) 熱中症予防のため、各学校で休養の時間や氷の準備等を行うこと。
 - (7) 審判は、セルフジャッジとする。ロービングアンパイヤーを配置する。
 - (8) 団体戦の優勝・準優勝校及び、個人ダブルス・シングルス上位男女各4組に九州大会出場資格を与える。
 - (9) 大会参加にあたっては、郡市代表選手としてふさわしい服装、身なり、行動を心がける。状況(染髪・眉剃り・装身具等)に応じては大会参加を認めない。

<ゼッケン 例>

